

くしろ自然再生解説員 News

Vol.1 2014.10月発行

くしろ自然再生解説員とは・・・

○地域の方々に釧路湿原の自然再生について理解を深めていただくため、平成15年度と平成16年度の2カ年において釧路開発建設部と財団法人日本生態系協会との共催で、『くしろ環境スクール』が開催されました。

○この『くしろ環境スクール』の講座修了者のうち有志が、ボランティアで「くしろ自然再生解説員」として、平成16年度から釧路町細岡展望台で、釧路湿原の自然環境や自然再生の取組について、解説活動を始めました。

○細岡展望台へ訪れる観光客を通じ、釧路湿原の魅力や釧路湿原の自然再生事業などについて、北海道内はもちろんのこと、全国へ発信する貴重な取組となっています。



位置図

解説方法

○ネームプレートを着用した「くしろ自然再生解説員」が、紙芝居風のパネルを用いて10分程度の解説を行います。

○現在8名が活動しており、釧路湿原の特徴や、釧路湿原で行われている自然再生事業などについて、解説員各自が独自のアレンジを加えて解説しています。

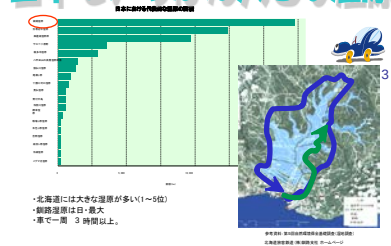


観光客への解説風景

使用しているパネルの抜粋



日本でいちばん大きな湿原



釧路湿原ならではの生き物 -タンチョウ-



世界でも珍しい 都市に近い湿原



希少な野生生物への影響



～釧路湿原を守るための市民の取り組み～



活動期間について

○活動は、観光客が多く集まる5月～9月に行っています。

解説員が2名以上集まることができる日に実施しており、不定期で月に1～3日程度となっています。

平成26年度の活動について

○前年度までは、5月・7月・9月の3ヶ月間の活動だったのですが、解説員の方から「6月の観光シーズンと、8月の夏休み時期も加えてはどうか。」

との意見があり、今年度は5月～9月の5ヶ月間活動を行いました。

5月～9月で11回活動することができ、178名の方に解説を聞いていただくことができました。

◆解説を聞いた方からの声◆

「ただ景色を見るだけとは全く違う。

解説を聞いてよかった。」

との暖かいお言葉を多数いただいています。



細岡展望台での解説風景

◆解説者の声◆

「詳しい説明が聞けて良かったと喜んでくださると、
こちらまで嬉しくなります。」

「釧路湿原に来られたお客様に理解を深めて欲しい。
それが地元の私達のおもてなし。」

解説員の皆さんはお忙しい中、予定をやりくりして一生懸命活動してくださっています。

今年度は解説員さんの人数が減ってしまいましたが、活動回数は去年より多く、たくさんの方に解説を聞いていただくことができました。

解説員の皆さん、大変お疲れ様でした。

今後の活動について

平成26年度の解説活動については、9月で終了となりました。今後は、来年1月に懇談会を開催し、来年度の活動計画等について話し合う予定です。

釧路開発建設部治水課では、釧路湿原の魅力や釧路湿原自然再生事業の取組について発信している「くしろ自然再生解説員」の活動を今後も支援していきます。